

平成26年 水道水質関連事故事例

事業名等	都道府県	発生日	水道の種類	施設概要(水源)	事故概要	事故原因	今後の対応	備考
神川町矢納地区簡易水道	埼玉県	平成26年2月15日	簡易水道	緩速ろ過 (表流水)	大雪による停電により、塩素注入ができない状態で給水が継続し(取水から配水まで自然流下)、末端給水の残留塩素が低下し検出できなくなった。さらに、除雪作業が進まず現地にたどりつけないため、防災無線で煮沸飲用を呼びかけた。また、その状況で、停電が解消し塩素注入が再開されたが、取水バルブが閉止し断水となった。	大雪による停電		
大山崎町水道事業	京都府	平成26年5月30日	上水道	凝集沈殿、急速ろ過 (深井戸)	日中の気温上昇時で、次亜塩素酸ナトリウムの分解によるガス発生が活発な状況の下において、他機器の点検のため、通常2時間程度の停止である注入ポンプを4時間程度停止した。このことにより、次亜塩素酸ナトリウムから発生するガス(気泡)がポンプ内に溜まり、ガスロック(エア噛み)による注入不良が発生し、残留塩素濃度が低下(0.1mg/L未満)した。健康被害は発生していない。	温度上昇	浄水池での残留塩素濃度のアラームを0.1ppmから0.2ppmに設定	
高須簡易水道	福井県	平成26年6月6日	簡易水道	塩素滅菌 (湧水)	滅菌処理設備の不調により、次亜塩素注入が滞り残留塩素濃度が低下(0.1mg/L未満)した。健康被害は発生していない。	滅菌処理設備の不調	水質検査項目に適合するよう技術指導	
大野簡易水道	山梨県	平成26年6月17日	簡易水道	塩素滅菌 (表流水)	残留塩素濃度が低かったために点検を実施したところ、前日の雷でブレーカーが遮断し、塩素注入設備が停止していたことが判明した。水質検査を実施したところ大腸菌を検出した。健康被害は発生していない。	雷によるブレーカーの遮断	ブレーカーの徹底管理	
駒ヶ根市上水道	長野県	平成26年7月8日	上水道	膜ろ過+塩素滅菌 (湧水)	クロロホルムが基準値を超過したため、取水停止、応急給水、広報を実施した。接合井・着水井・配水池の清掃を行い、接合井、着水井に粒状活性炭ユニットを設置した。	降雨による原水中の消毒前駆物質の増加(推定)	・原水の監視 ・配水池水位の監視	
岩国市水道事業	山口県	平成26年7月15日	上水道	凝集、急速ろ過 (表流水)	ジェオスミンが基準値を超過したため、一時的に取水停止し活性炭処理を実施した。	生見川ダムの放流(推定)	・取水口上流ダム及び水道原水の定期的な水質検査・監視 ・ジェオスミン濃度に対応した活性炭の注入	
土庄町甲生簡易水道	香川県	平成26年8月13日	簡易水道	緩速ろ過+前塩素消毒 (ため池、表流水)	緩速ろ過前で塩素処理を行い、ろ過後で塩素注入を行っていなかったため一般細菌が基準値を超過した。住民への煮沸等の広報を実施し、緩速ろ過前の塩素処理を停止し凝集処理を開始し、ろ過後の塩素注入を開始した。健康被害は発生していない。	不適切な浄水処理方法	・浄水場の運転管理マニュアルの整備 ・職員全体の各浄水場管理方法、処理方法の知識向上 ・引継体制の構築	
白井市水道事業	千葉県	平成26年8月13日	上水道	白井地区末端給水栓 (浄水受水)	定期の水質検査で白井地区末端給水栓で、一般細菌が基準値を超過していることが判明した。ドレン排水を実施した。健康被害は発生していない。	停滞水による残留塩素濃度低下	・毎日検査による確認 ・ドレン排水を適宜実施することによる水質維持	

吹田市水道部	大阪府	平成26年8月29日	上水道	配水場 (浄水受水)	2池構造の配水池の耐震化工事に併せた防水工事の材料の臭いが、運用中の配水池の通気口を介して池内の水道水に移り、臭気とスチレン0.01mg/L(要検討項目の目標値0.02mg/L)、酢酸エチル0.06mg/L(基準値等設定無し)が確認された。	配水池耐震化工事 における臭いの発生	・水質試験による監視 ・安全を担保した工事の再開	
田上地区簡易水道	熊本県	平成26年9月11日	簡易水道	塩素減菌 (深井戸)	9月11日に住民から灯油臭いと通報を受け、着水井、配水池の表面に油成分を確認した後、給水停止、応急給水を実施した。その後、水源池と隣接するJAの灯油タンク配管からの油漏れにより、9月8～11日の間、灯油が地下水に浸透していたことが原因と判明した。健康調査を実施したところ、9月9日に嘔吐、下痢の2名の健康被害が発生した。	水源池に隣接する灯油タンク配管から油漏れ	新たな水源池の整備	
大田市上下水道部	島根県	平成26年10月8日 ～22日	上水道	急速ろ過、粉末活性炭 (表流水)	原水の臭気を感じ、活性炭の注入量を増量し、24時間運転を開始した。その後、浄水で2-メチルイソボルネオールが基準値を超過したため、接触槽のプロアーの増設、急速ろ過池、薬品沈殿池の清掃、排水弁からの捨水を実施した。	三瓶ダムの季節的水温変化と富栄養化による植物プランクトンの大量発生	・ダム管理者(島根県)と共同で原因究明と対策 ・異臭味に関する毎日検査及び定期的水質検査の頻度を上げる。	
大分市水道局	大分県	平成26年10月9日 ～11月28日	上水道	凝集沈殿、急速ろ過、粉末活性炭 (表流水)	原水及び浄水の2-メチルイソボルネオール(2-MIB)が基準値を超過したため、粉末活性炭注入を強化した。11月18日より、2-MIB吸着除去性能に優れた新たな粉末活性炭の投入を開始した。	芹川ダムで藍藻綱 フオルミジウムテヌエ の大量発生	・新たな粉末活性炭の本格的導入 ・原水の水質監視体制の強化 ・再発した場合、取水量を調整し活性炭との接触時間を長くする予定	
大阪市水道局	大阪府	平成26年12月18日	上水道	凝集沈殿、急速ろ過、オゾン、活性炭 (表流水)	浄水場における塩素注入量が不足したことで、2つの配水場系統において遊離残留塩素濃度が水道法で定める数値(0.1mg/l)を一時下回った。これを受けて、影響範囲の住民へは、HPや広報車により広報するとともに、塩素注入の強化や、他の配水系統からの応援強化、配水管での排水作業等の対策を実施した。健康被害は発生していない。	遊離残留塩素濃度の誤計測による塩素注入量の不足	・計測装置の拡充 ・追加塩素設備の拡充 ・情報連絡体制の強化	